

様式8 (第14条関係)

2026 年 4 月 1 日

(あて先) 一宮市長

一宮市市民活動サポート補助金交付決定通知書(様式7)の右上の日付部分を記入してください。

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 iービル3階
団体名 市民協働クラブ
代表者名 一宮 太郎

事業終了後、
1か月以内に
提出してください。

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る実績報告書

年 月 日付け 一宮市協指令第 号で交付決定のあった一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業について、下記のとおり実施しましたので実績を報告します。

事業の名称	市民活動相談事業	一宮市市民活動サポート補助金企画提案書(様式1)と同じ事業名を記入してください。
事業実施期間	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	
事業の内容	(実施した事業の内容を簡潔に記入してください。) 毎月1回、市民活動実践者や企業等で働く人をプロボノとして迎え、業務の改善、組織力の強化、事業の展開などの支援を必要とする市民活動団体に対し相談会を実施した。 また、一部の団体においては、相談会実施後の3か月に1回程度、活動の変化を確認し、継続的に支援を行った。	
スケジュール	(具体的に、何をどのように行ったのか、①いつ ②どこで ③何を何回 ④誰に(対象者) ⑤参加人数などを記入してください。) 毎月第4金曜日に、一宮市市民活動支援センターで市民活動全般に関する相談会を実施した。(11月～2月は尾西生涯学習センターで実施) 1コマ1時間30分で年間20コマ、合計15団体の市民活動団体に対して行った。また、うち5団体については1回目の相談後も継続的に相談に応じた。 <実施日および参加団体数> ・4月25日(金) 1団体 ・10月24日(金) 2団体 ・5月23日(金) 3団体 ・11月28日(金) 2団体 ・6月27日(金) 1団体 ・12月26日(金) 0団体 ・7月25日(金) 2団体 ・1月23日(金) 1団体 ・9月26日(金) 1団体 ・2月27日(金) 2団体 実施日、参加人数など、実績や数値としてわかるものは記入してください。	

実施体制	(実施メンバーの人数やその他に協力者、協力団体など、どのような体制で事業を行ったのかを記入してください。) 事前予約は当団体スタッフ1名で対応した。 相談会当日は、当団体スタッフが2名で運営を行った。また、アドバイザーは、市民活動に精通した外部の市民活動実践者5名と企業等で働くプロボノ3名の中から、相談内容に最も適した者を1名選び、相談を実施した。
事業実施により得られた効果	(事業実施により、当初の計画で期待した効果がどのように得られ、それが地域・社会にどのように貢献できたのかを記入してください。) 市民活動相談会に参加した市民活動団体からは、「活動内容が整理でき、今後の展開を検討することができた」「今まで気づかなかった視点から自団体を見直すことができた」などの感想が聞かれ、団体の課題解決能力の向上に寄与できた。本事業の実施により、市民活動団体が自主的な行動により地域課題を解決していくという目指す地域社会像に近づいたものと思われる。 また、アドバイザーとして参加したプロボノからは、今まで市民活動にあまり関心が無かったが、活動を知ることによって市民活動に興味を持つことができたとの声が聞かれ、相談する側のアドバイザーの意識変化にもつながり、今後の相談がよりよく充実したものになると期待できる。 「実施した」ではなく、「実施した結果、どんな効果があったのか」を記入してください。(例えば、「地域がどう変わったのか」など)
浮上した課題や反省点に対する今後の改善策	(事業を実施した中で、浮上した課題や反省点を記入するとともに、これに対し、今後どう改善して活動を継続させていくのかを記入してください。) 今回の相談会には15団体が参加したが、うち5団体は事業終了後も継続相談を実施した。一度の相談だけでその成果がすぐにでないことが分かったことから、継続相談を実施していく必要性を今後の実施に活かしていきたい。 こうしたことから、本事業には一定のニーズがあると思われるので、相談の機会を継続し、団体の課題解決能力の更なる向上に寄与していきたい。

活動の様子がわかる写真を1枚添付してください

**活動の様子がわかる
写真を添付してください。
(カラーでもモノクロでも可)**

タイトル：市民活動相談会の様子

撮影日：2025 年 11 月 28 日

添付書類

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る収支決算書（様式9）

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る収支決算書

補助金額は、

- ① 補助対象額に補助率を乗じた額
140,276 円×2/3=93,517 円 と
- ② 事業費から事業収入を引いた額
144,888 円-7,500 円=137,388 円 と
- ③ 補助金交付決定額 のうち
一番少ない額で、千円未満切り捨てとなります。

市民協働クラブ

市民活動相談事業

一宮市市民活動サポート補助金
企画提案書(様式1)と同じ事業
名を記入してください。

科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	内 訳
一宮市市民活動 サポート補助金	112,000	93,000	
当該事業における 事業収入	24,000	7,500	相談料 500 円×15 回=7,500 円
自主財源	38,400	44,388	
計	174,400	144,888	

有料で事業を実施した場合は、
収入を記入してください。

支 出

科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	決算額のうち、 補助対象額(円)	※補助金対象額
報償費	100,000	80,000	80,000	
旅費	0	0	0	
印刷製本、消耗品費	4,000	3,036	3,036	
食糧費	6,000	4,612	0	
通信費、手数料	8,400	9,240	9,240	
備品費	0	0	0	
人件費	36,000	28,000	28,000	
使用料、賃借料	20,000	20,000	20,000	
その他	0	0	0	
計	174,400	144,888	140,276	

※ この欄は、何も記入しないでもいい。

予算額の欄は、収入、支出ともに予算時の金額
(計画変更届を提出した場合は変更後の金額)を
転記してください。
※この記入例は、変更後の金額を転記しています。

記入例(ステップアップ部門)

支出科目の内訳

科 目	決算額 (円)	決算額のうち、 補助対象額 (円)	内 訳※
報償費	80,000	80,000	アドバイザー 5,000 円 × 6 回 × 2 人 = 60,000 円 5,000 円 × 4 回 × 1 人 = 20,000 円
旅費	0	0	
印刷製本、 消耗品費	3,036	3,036	文具 2,356 円 コピー・印刷代 680 円
食糧費	4,612	0	アドバイザー茶菓子代(10 回分) 4,612 円(0 円)
通信費、 手数料	9,240	9,240	チラシ郵送代 84 円 × 110 箇所 = 9,240 円
備品費	0	0	
人件費	28,000	28,000	事務 1,000 円 × 28h × 1 人 = 28,000 円
使用料、 賃借料	20,000	20,000	会議室使用料 5,000 円 × 4 回 = 20,000 円
その他	0	0	

対象経費とならない
支出は(0 円) と
記入してください。

※ 一部が「補助対象額」となる場合は、その該当分のみを() 書きで再掲してください。

例) 講師・スタッフ弁当代 @600 円 × 5 人 = 3,000 円 (@600 円 × 1 人 = 600 円)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。

様式 11 (第 16 条第 1 項関係)

空欄にしてください

年 月 日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階

団体名 市民協働クラブ

代表者名 一宮 太郎

電話番号 0586-23-8883

振込口座が団体名義でない場合、
受領を委任するため代表者名の
部分は自署になります。

一宮市市民活動サポート補助金交付請求書

年 月 日付け 一宮市協発第 号で交付確定のあった一宮市市民活動サ
ポート補助金について、下記の口座に振り込んでください。なお、上記申請者と口座名義に相違
がある場合は、下記口座名義の者に受領を委任します。

	記		
1 交付確定額	金	93,000	円
2 既受領額	金	40,000	円
3 請求額	金	53,000	円

「1交付確定額」には「一宮
市市民活動サポート補助金
交付決定事業に係る収支決
算書(様式9)」の一宮市市
民活動サポート補助金の決
算額を、「2既受領額」には
前金として受領した金額を、
「3請求額」にはその差額を
記入してください。

振込先金融機関	
〇〇 銀行 農協 信用金庫	△△ 支店
預金種別	口座番号
普通 当座	1 2 3 4 5 6 7
口座名義	
フリガナ	シミンキョウドウクラブ カイケイ イチノミヤ ハナコ
名義人	市民協働クラブ 会計 一宮 花子

振込先口座は通帳の記載の
とおりに記入してください。